

1

6月学院福音化：歩んできた30年の始まり - サムエル

サムエルの出生

Ⅰサム 1:9～11 シロでの食事が終わって、ハンナは立ち上がった。そのとき、祭司エリは、主の宮の柱のそばの席にすわっていた。ハンナの心は痛んでいた。彼女は主に祈って、激しく泣いた。そして誓願を立てて言った。「万軍の主よ。もし、あなたが、はしための悩みを顧みて、私を心に留め、このはしために忘れず、このはしために男の子を授けてくださいますなら、私はその子の一生を主にささげます。そして、その子の頭に、かみそりを当てません。」

1. ハンナの苦しみ

- 1) 妊娠できない苦しみ 1:5
- 2) ベニンナの憎しみ 1:6
- 3) エルカナの慰め 1:8

2. ハンナの祈り

- 1) 泣きわめく祈り 1:10
- 2) 契約を握った祈り 1:9～11
- 3) サムエルの出生 1:20

3. ハンナの賛美

- 1) 7人の子を産む 2:5
- 2) 「主は殺し、また生かし、」 2:6
- 3) 「主は、貧しくし、また富ませ、」 2:7
- 4) 「主は、はむかう者を打ち砕き」 2:10

2

6月学院福音化：歩んできた30年の始まり - サムエル

少年サムエル

Ⅰサム 3:19 サムエルは成長した。主は彼とともにおられ、彼のことばを一つも地に落とされなかった。

1. エリの子の預言 Ⅰサム 2:27～36

- 1) いけにえを軽くあしらい、息子を重んじる 2:28～29
- 2) さげすむ者は軽んじられる 2:30
- 3) 年寄りがいなくなる 2:31

2. 主の御声を聞いたサムエル

- 1) 契約の箱のそばで寝ていたサムエル 3:1～3
- 2) みことばが切れた時代 3:1
- 3) 三度も呼ばれた少年サムエル 3:6～10

3. サムエルのことば一つも地に落ちなかった

- 1) エリに見た黙示を語る 3:15～18
- 2) Ⅰサムエル 3:19

3

6月学院福音化：歩んできた30年の始まり - サムエル

サムエルのミツパ運動

1サム 7:1 ~ 15 そのころ、サムエルはイスラエルの全家に次のように言った。「もし、あなたがたが心を尽くして主に帰り、あなたがたの間から外国の神々やアシュタロテを取り除き、心を主に向け、主にのみ仕えるなら、主はあなたがたをペリシテ人の手から救い出されます。」そこでイスラエル人は、バアルやアシュタロテを取り除き、主にのみ仕えた。それで、サムエルは言った。「イスラエル人をみな、ミツパに集めなさい。私はあなたがたのために主に祈りましょう。」彼らはミツパに集まり、水を汲んで主の前に注ぎ、その日は断食した。そうして、その所で言った。「私たちは主に対して罪を犯しました。」こうしてサムエルはミツパでイスラエル人をさばいた。(3 ~ 6)

1. ペリシテの侵入

- 1) サムエルのことばが全イスラエルに行き渡る 4:1
- 2) ペリシテがエベン・エゼルに陣を敷く 4:2
- 3) エリの家族の死 4:12 ~ 22

2. 契約の箱を奪われる

- 1) アシュドデ 5:1
- 2) ダゴンの宮 5:2
- 3) ガテ 5:8
- 4) エクロン 5:10
- 5) 戻ってきた契約の箱 6:1 ~ 18

3. ミツパ運動

- 1) すべての偶像を捨てる 7:3
- 2) 主に祈る 7:5
- 3) 戦争が止まる 7:6 ~ 17

4

6月学院福音化：歩んできた30年の始まり - サムエル

サムエルの業績

1サム 16:1 ~ 13 サムエルはエッサイに言った。「子どもたちはこれで全部ですか。」エッサイは答えた。「まだ末の子が残っています。あれは今、羊の番をしています。」サムエルはエッサイに言った。「人をやって、その子を連れて来なさい。その子がここに来るまで、私たちは座に着かないから。」エッサイは人をやって、彼を連れて来させた。その子は血色の良い顔で、目が美しく、姿もりっぱだった。主は仰せられた。「さあ、この者に油をそそげ。この者がそれだ。」サムエルは油の角を取り、兄弟たちの真ん中で彼に油をそそいだ。主の霊がその日以来、ダビデの上に激しく下った。サムエルは立ち上がってラマへ帰った。(11 ~ 13)

1. 大祭司にメッセージを伝える 3:1 ~ 18

2. エリの死後に祭司と士師になる 4:18

3. ミツパ復興運動 7:1 ~ 15

4. 全国巡回 7:15 ~ 17

5. サウル王を立てる 10:17 ~ 27

6. ダビデを立てる 16:1 ~ 13

7. 全民族の尊敬を受ける指導者 25:1
